



2010年4月26日

農場管理を“見える化”し、食の安全を確保する
日本の業界統一 GAP 「JGAP2010 青果物」

JGAP 最新版 パブリックコメント募集中！

日本 GAP 協会（理事長：高橋政行）は、最新版の JGAP 基準「JGAP2010 青果物（2010 年 6 月に発表予定）」のドラフト版に対するパブリックコメントを募集しています。

「JGAP2010 青果物」は、青果物（野菜と果実）を生産する農場や JA などの生産部会が活用する基準であり、下記の特徴があります。

（1）農林水産省「GAPの共通基盤に関するガイドライン（4月21日発表）」に対応

本ガイドラインに対応した GAP としては、JGAP2010 が日本で最初のものと思われます。

（2）流通 GAP や各社の取引基準との整合性

JGAP 本体（国内項目）に独自項目を付け加えることで、各流通企業それぞれの基準に対応できるような方向を目指して JGAP2010 は開発されています。

JGAP2010 は、各社の GAP や取引基準の共通の土台として使われることが期待されています。

（3）JGAP 本体（国内項目）と、輸出項目（GLOBALGAP 同等性項目）が分割されます

今回の JGAP2010 は、欧州農業を基盤とする GLOBALGAP にふりまわされずに、日本の生産環境、社会環境に最も適した GAP にしようという方針を持っています。

そのため、JGAP2010 は JGAP 本体（国内項目）と、輸出項目（GLOBALGAP 同等性項目）にページを分けました。そのうえで JGAP 本体（国内項目）を、「日本の生産側と流通側の双方にとって“必要十分な GAP”」と位置付けて基準開発されています。GLOBALGAP との差異部分は、輸出項目（GLOBALGAP 同等性項目）として別ページになっています。

結果として JGAP2010 は、日本の農業者にとって、より取り組みやすい（＝分かりやすい）GAP になりました。

JGAP 認証が必要な農場は、JGAP 本体（国内項目）に取り組みます。

輸出などのために GLOBALGAP 認証（ver 3）も必要になった農場は、JGAP 本体（国内項目）に輸出項目（GLOBALGAP 同等性項目）を加えて取り組みます。

* JGAP2010 青果物は GLOBALGAP 同等性認証（AMC 方式）を申請予定であり、JGAP を使用した審査で GLOBALGAP 認証を取得することができるよう開発を進めています。

----- 特定非営利活動法人（NPO 法人）日本 GAP 協会 -----

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-29 日本農業研究所 4 階

TEL: 03-5215-1112 / FAX: 03-5215-1113

NEWS RELEASE

現在、全国で使用されている JGAP 青果物は第 2.1 版であり、今回の基準改定は 4 年ぶりの大改定となります。JGAP 第三者認証制度が開始された後としては、初めての基準改訂となります。都道府県や JA の GAP の中には JGAP を参考にして作られたものも多く、今回の基準改定はそれらにも広く影響する可能性があります。

JGAP2010 青果物のドラフト版、およびパブリックコメント応募フォームは、日本 GAP 協会のホームページにて入手できます。

日本 GAP 協会 ホームページ : <http://jgap.jp>

パブリックコメント 募集〆切 : 5 月 5 日

日本GAP協会 理事一覧 ※理事長・副理事長・理事・監事は無報酬

役職	氏名	所属組織など	役職	氏名	所属組織など
理事長	高橋政行	個人としての参加	理事	泉谷定男	株式会社ダイエー 品質管理センター長
副理事長	上杉登	三菱商事アグリサービス株式会社 代表取締役社長		内山和夫	日本生活協同組合連合会 産直担当
専務理事 事務局長	武田泰明	個人としての参加		惠本芳尚	株式会社イトーヨーカ堂 青果部 シニアマーチャングイザー
理事	片山寿伸	片山りんご株式会社 代表取締役		辻信之	株式会社シジシージャパン 取締役 生鮮・日配事業部事業部長
	木内博一	農事組合法人郷園 代表理事		中井尚	社団法人日本フードサービス協会 理事兼事務局長
	栗田洋蔵	有限会社育葉産業 代表取締役		西影昌純	株式会社ケーアイ・フレッシュアクセス 代表取締役副社長 副社長執行役員
	佐塚高	静岡県経済農業協同組合連合会 (JA 静岡経済連) 茶業部長		藤井滋生	イオン株式会社 グループ戦略責任者付
	玉造洋祐	有限会社ユニオンファーム 代表取締役 いばらき農産物流通研究会 事務局長		和田正江	主婦連合会 副会長
	服部一成	服部果樹園	監事	田村和彦	株式会社アグリコミュニケーションズ 代表取締役社長
	藤田毅	有限会社フジタファーム 代表取締役			

<JGAP 認証農場数の推移>

2007 年 11 月 JGAP 第三者認証制度 開始

2008 年 3 月 236 農場 / 2009 年 3 月 440 農場 / 2010 年 3 月 902 農場

- * 日本 GAP 協会は、日本における本格的な GAP (Good Agricultural Practice) の普及を推進している民間非営利団体です。農業界と流通業界が共同で運営しております。
- * JGAP とは、生産段階における農産物の安全確保等を目的とした農業生産工程管理手法です。青果物・穀物 (コメ等)・日本緑茶 (荒茶) の生産農場用のものがあります。

窓口担当者 武田/横溝 Tel 03-5215-1112 Fax 03-5215-1113

(FAX 頂ければ回答致します)

取材希望

御社名

部署名

御名前

住所

電話番号

----- 特定非営利活動法人 (NPO 法人) 日本 GAP 協会 -----
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-29 日本農業研究所 4 階
TEL: 03-5215-1112 / FAX: 03-5215-1113